

施策評価シート

施策番号【6-2】

評価年度	令和4年度	事業実施年度	令和3年度	施策主管次長名	舟橋 伸幸	
施策番号	6-2	施策名	便利で快適な住環境をつくろう		総合計画掲載頁	140~147
主担当部名	都市建設部					
関連課名	企画政策課、道路河川課、都市計画課、公園緑地課					

1 総合計画の目標指標 PLAN & GOAL (中間値と最終目標値の確認)

取組分野	公共交通	R5 中間値	R10 目標値
指標名	さんさんバスの利用者数		
指標の定義	さんさんバスの年間利用者数	315,000人	330,000人
取組分野	道路	R5 中間値	R10 目標値
指標名	都市計画道路整備率		
指標の定義	都市計画道路の計画延長に占める整備済延長の割合	81%	83%
取組分野	市街地整備	R5 中間値	R10 目標値
指標名	市街地整備済面積		
指標の定義	土地区画整理事業の整備済面積と地区計画が定められた(区画整理を除く)整備済面積	575ha	633ha
取組分野	景観	R5 中間値	R10 目標値
指標名	景観に配慮した地区数		
指標の定義	景観に配慮した地区計画の策定数	6地区	7地区
取組分野		R5 中間値	R10 目標値
指標名			
指標の定義			

2 成果指標 DO & REPLAN (実績を計上し計画値を再設定)

取組分野	公共交通	単位	R1実績	R2実績	R3実績	R4計画	R5目標
成果指標名	バス乗り方教室の開催回数	回	0	0	2	5	6
対象	市民	指標設定の考え方	市民の公共交通への理解を深め、バスを身近に体験できる機会として市民を対象とした乗り方教室を開催し、利用促進を図る。				
		把握方法	乗り方教室の開催回数				

取組分野	道路	単位	R1実績	R2実績	R3実績	R4計画	R5目標
成果指標名	都市計画道路整備済延長	m	53,990	53,990	55,915	55,915	55,915
対象	都市計画道路	指標設定の考え方	安全で快適に移動できる幹線道路の整備を推進する。				
		把握方法	市内の都市計画道路整備済延長				

取組分野	市街地整備	単位	R1実績	R2実績	R3実績	R4計画	R5目標
成果指標名	低未利用地の解消面積	ha	0.0	4.5	23.5	28.1	28.1
対象	市内4箇所	指標設定の考え方	低未利用地(暫定用途地域)の建築制限を緩和し、有効な土地利用を図る。				
		把握方法	低未利用地(暫定用途地域)の解消済面積(累計)				

取組分野	景観	単位	R1実績	R2実績	R3実績	R4計画	R5目標
成果指標名	景観百選の選定数	点	0	4	1	5	5
対象	市内全域	指標設定の考え方	「みよらしい景観」を景観百選として募集し、次の世代に守り伝え、これからのまちづくりに活かしていく。				
		把握方法	景観百選に選定した年間点数				

取組分野		単位	R1実績	R2実績	R3実績	R4計画	R5目標
成果指標名							
対象		指標設定の考え方					
		把握方法					

3 施策の評価

ANALYSE & CHECK(分析・評価)

施策の分析 (現状の確認と近隣調査)					
施策の現状	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバス、鉄道、路線バス及びタクシーが連携した公共交通サービスの提供や交通体系のあり方を示した「みよし市地域公共交通計画」を令和2(2020)年3月に策定し、計画に基づく取組を進めることで持続可能な公共交通ネットワークの構築を図る。令和4(2022)年4月にさんさんバスの路線等再編を実施した。 ・都市計画道路の整備は、(都)黒笹福谷線はじめ3路線が事業中である。 ・本市は平成22(2010)年9月に景観法に基づく景観行政団体の指定を受け、平成23(2011)年4月には「水と緑の風景を守り育てる条例」を施行し、あわせて都市緑地法に基づく緑のマスタープランと景観法に基づく景観計画を一体的な内容とした「みどりと景観計画」を策定し、景観に配慮したまちづくりの推進を図る。 				
成果向上に向けての市民と行政の役割分担	<table border="1"> <tr> <td>市民</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通の確保・維持のため、積極的な利用や公共交通を活用したイベント等への参加に努める。 ・道路事業への協力や日常的に清掃、草刈りを行い歩道の環境保全に努める。また、歩行者、車両の交通安全を図るため、道路損傷の発見、通報を行う。 ・主体となって積極的にまちづくりに参加し、周辺との調和に配慮し、良好な景観の形成に努める。 </td> </tr> <tr> <td>行政</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通に関する情報提供を積極的に行うとともに、地域と連携・協働してイベント等の事業をする。 ・都市計画道路の未整備路線について整備を促進する。中心市街地活性化のため、市役所周辺の都市計画道路については、ユニバーサルデザインに配慮した整備を進める。 </td> </tr> </table>	市民	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通の確保・維持のため、積極的な利用や公共交通を活用したイベント等への参加に努める。 ・道路事業への協力や日常的に清掃、草刈りを行い歩道の環境保全に努める。また、歩行者、車両の交通安全を図るため、道路損傷の発見、通報を行う。 ・主体となって積極的にまちづくりに参加し、周辺との調和に配慮し、良好な景観の形成に努める。 	行政	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通に関する情報提供を積極的に行うとともに、地域と連携・協働してイベント等の事業をする。 ・都市計画道路の未整備路線について整備を促進する。中心市街地活性化のため、市役所周辺の都市計画道路については、ユニバーサルデザインに配慮した整備を進める。
市民	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通の確保・維持のため、積極的な利用や公共交通を活用したイベント等への参加に努める。 ・道路事業への協力や日常的に清掃、草刈りを行い歩道の環境保全に努める。また、歩行者、車両の交通安全を図るため、道路損傷の発見、通報を行う。 ・主体となって積極的にまちづくりに参加し、周辺との調和に配慮し、良好な景観の形成に努める。 				
行政	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通に関する情報提供を積極的に行うとともに、地域と連携・協働してイベント等の事業をする。 ・都市計画道路の未整備路線について整備を促進する。中心市街地活性化のため、市役所周辺の都市計画道路については、ユニバーサルデザインに配慮した整備を進める。 				
近隣市町との比較	<ul style="list-style-type: none"> ・県内景観行政団体【R4(2022)3】 名古屋、豊橋市、岡崎市、豊田市、犬山市、長久手市、瀬戸市、半田市、常滑市、一宮市、碧南市、春日井市、東浦町、田原市、蒲郡市(下線は景観計画(法定計画)策定市) 				

施策の評価 (活動の振り返りと課題の明確化)	
令和2年度以前の活動	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2(2020)年3月に「みよし市地域公共交通計画」を策定し、令和2(2020)年12月にはさんさんバスの路線等再編に向けて基本方針を策定した。令和2(2020)年度後期にキャッシュレス決済の導入に向けた実証実験を行った。 ・広報でさんさんバスや乗合タクシーの利用方法の案内を行った。 ・(都)黒笹福谷線、(都)蜂ヶ池線、(都)平池天王台線、(都)東郷三好線の整備事業を行った。 ・H27(2015)弥栄東部地区(0.7ha)、H29(2017)三好中島地区(23.1ha)、R2(2020)東山地区(4.5ha)の低未利用地(暫定用途)の解消を実施した。 ・H28(2016)年度にみよし市景観百選を作成した。
令和3年度の活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・さんさんバスの路線等再編に向けてバス車両の増車やバス停改修などを行った。バス利用者の利便性向上のため、二次元コードによるキャッシュレス決済を導入した。バス車内において行政情報や広告を表示するデジタルサイネージを導入した。 ・(都)黒笹福谷線、(都)蜂ヶ池線、(都)平池天王台線、(都)東郷三好線の整備事業を行った。 ・弥栄地区の低未利用地(暫定用途)の用途地域の変更を行い、低未利用地を解消した。 ・天王地区の低未利用地(暫定用途)の解消に向けて、地権者に対する説明会や意向調査を実施した。 ・広報みよしに景観百選に選定された写真を掲載し募集を行った。
積み残し課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・地権者の同意が得られず用地確保ができない路線がある。 ・市内には2地区10.1ha(天王:4.6ha、三好上:5.5ha)の低未利用地(暫定用途)が残っている

4 活動計画

ACTION & PLAN(目標を達成するために起こす行動)

令和4年度以降の施策目標達成に向けての取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2(2020)年3月に策定した「みよし市地域公共交通計画」に定めるアクションプランに基づき、利用促進施策などを計画的に実施していく。さんさんバス車両について次世代バス(電気・水素車両)の導入に向けた準備を進める。 ・車道・自転車通行空間の整備、歩行者道のバリアフリー化など、すべての利用者に対応した整備を進め、便利で快適な住環境を推進する。 ・低未利用地(暫定用途)の早期解消を図る。 ・令和5年度に目標年次を迎える「みどりと景観計画」を令和4(2022)、5(2023)年度の2か年で現況に即した内容に改定し、緑化施策と景観形成を計画的かつ総合的に推進していく。
施策目標達成に向けての令和4年度の活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4(2022)年4月に路線等再編を実施したさんさんバスについて、再編後の利用者動向を把握し、評価・検証するため、フォローアップ調査を実施する。バス利用者の待合環境改善のため、バス停上屋の新設及び修繕を行う。 ・都市計画道路の整備について、以下の3路線について事業推進する。 (都)黒笹福谷線:用地取得 (都)蜂ヶ池線:補償調査 (都)東郷三好線:測量調査、交差点予備設計 ・低未利用地(暫定用途)の解消に向けて地元調整を続けていく。 ・景観百選の候補写真の募集を継続する。 ・みどりと景観計画策定委員会を組織し、計画の改定作業を進める。